

「GOLD RUSH」から見えるアメリカ合衆国の様相

- 米国理解を図る歴史単元の開発 -

岡崎市立甲山中学校

尾崎 智佳

1 はじめに

「ゴールデンゲートブリッジは赤いのに、なぜゴールデンなのか？」

このような疑問をもったことはないだろうか。アメリカの歴史を知っていれば、その答えは容易に考えることができる。しかし、新学習指導要領の精選によってアメリカの歴史についてもその内容はたいへん少なくなった。教科書においても「民主国家」「資本主義大国」「多民族国家」など、アメリカを象徴する理念的な言葉は記述されているが、その歴史的経緯の記述も少なく、そのためにアメリカという国の現在の実像もかえって見えにくくなったように思える。



ゴールデンゲートブリッジ

今回の研修では、「GOLD RUSH」に関連した様々な場所を訪れることができた。そこで、それらの場所での調査・資料収集したことを生かし、生徒に「GOLD RUSH」を核として現在のアメリカの様相が見える（につながる）歴史単元を開発し、米国理解を深める学習の創造を図りたいと考えた。

2 「GOLD RUSH」の授業作りにあたって

(1) 「GOLD RUSH」の歴史的位置づけ

アメリカ史の中でGOLD RUSHとは、1848年、現在のカリフォルニア州サクラメント近郊で金が発見され、それにともない翌年から多くの人々が金を探しに、この地へ流れ込んできた一連の人々の動きを表現したものである。そういう意味からも、特定の年に起こった歴史事件とは異なり、もう少し長いスパンでその動きをとらえ、当時の様子を象徴的に言い表している歴史用語といえる。

なぜ、当時辺境の地カリフォルニアでのでき事が、アメリカ史上でも名高いでき事として、年表にその名称が刻まれているか。1848年、カリフォルニアで金鉱が発見されたという情報が東部に伝わると翌年1年間だけで、一獲千金をねらい、夢みた者たちが、8万人以上この地へ押し寄せた。それは、アメリカ史の中でも非常に急激な人口の流動であり、それ以後、フロンティア西部の開拓が急速に展開される要因となったのである。また、同じ年にアメリカはメキシコとの戦いに勝利し、カリフォルニアを獲得した。これによって領土を大西洋から太平洋に面した大国となり、GOLD RUSHによる人口移動、そしてその拠点となるタウンの形成は、後の大陸横断鉄道の必要性にもつながるように、アメリカの領土拡大と支配において重要な意味をなしたといえる。

さらに、GOLD RUSHの噂はアメリカ本土だけでなく、ヨーロッパ及びアジアにまで広まった。その情報により、多くの移民がアメリカへ流入してくるようになった。その移民の中にはアジア系移民（当初は中国系移民）もいる。以上のことから、GOLD RUSHは、